

令和 8 年度住田町鳥獣害防止総合対策協議会「通常総会」会議録

と き：令和 8 年 8 月 21 日 13：30～14：30
ところ：住田町農林会館 多目的ホール

○構成員 7 名中、本人出席 6 名、代理出席 0 名、委任状出席 1 名、本会規約第 15 条に基づき、本総会は成立。

- 本人出席
- | | | |
|--------------------|-------|-------|
| 住田町鳥獣害防止総合対策協議会会長： | 横澤 | 一郎 |
| 〃 | 副会長： | 水野 豊 |
| 〃 | 監事： | 高萩 修 |
| 〃 | 監事： | 千葉 憲一 |
| 〃 | 構成員： | 保坂 享 |
| 〃 | 事務局長： | 堀尾 昌史 |

○委任状出席
住田町鳥獣害防止総合対策協議会構成員：紺野 昭市

- 事務局
- | | | |
|---------------------|------|------|
| 住田町鳥獣害防止総合対策協議会事務局： | 泉 俊明 | |
| 〃 | 事務局： | 金 大成 |

- 1 開 会 （13：30）
- 2 あいさつ 横澤 一郎 会長
近年、鳥獣による農作物被害が全国的に深刻化し、地域の暮らしや産業に大きな影響を及ぼしている。農業被害は過去最多となる 14,721 千円を記録し、大変深刻な状況にある。
特に昨今、クマによる被害が多発しており、農業経営のみならず、町民の安心・安全な暮らしを脅かす喫緊の課題であると認識している。
ニホンザル対策については、長年、防除対策のみにとどまっていたが、今年度、県主導で管理計画の策定に向けた動きが進んでいることを大変嬉しく思う。
- 3 議長選出 横澤 一郎 会長
- 4 議事録署名人の選出 千葉 憲一 氏
- 5 議事

議案第 1 号 令和 7 年度鳥獣害防止総合対策事業実績報告について
上記について、令和 7 年度に実施した事業及び収支決算について、事務局より説明。千葉憲一氏より監査報告。
→ 原案のとおり承認される。

議案第 2 号 令和 8 年度鳥獣害防止総合対策事業実施計画（案）について
上記について、令和 8 年度に計画する事業及び収支予算（案）について、事務局より説明。

横澤：イノシシ対策は今年度実施しない予定か。
事務局：毎年度、イノシシの箱罾購入費等について要望しているが、予算化が難しい状況にある。今年度の要望額は約 6,000 千円であったが、配分額はその半分にとどまっている。交付金を活用した鳥獣対策については、今年度はサルとクマを重点的に実施したい。なお、イノシシ対策については、町単独補助金を活用し、並行して実施している。
横澤：東海新報で、ニホンザル管理計画策定についての記事を拝見した。その中で「捕獲だけでなく、群れによって最適な選択をするのが重要」という一文について、意味を確認したい。
堀尾：ニホンザルの捕獲にあたっては各群れの加害レベル、被害防除対策レベル及びオトナメスの頭数が判断材料となる。様々な要素を勘案した上で最善の対策を講じるという意味合いかと思う。

→ 原案のとおり承認される。

議案第 3 号 住田町鳥獣被害防止計画（案）について
上記について、事務局より説明。

保坂：ニホンジカ被害防止の為、実施隊へくくりわなを賃貸する等、森林管理署・市町村・猟友会の三者で協定を締結し、実施している実績がある。
前向きに検討いただきたい。
→ 原案のとおり承認される。

- 6 その他
・鳥獣被害防止に関する各データについて説明。

7 閉 会 （14：30）

議事録署名人 千葉 憲一

